

1. 通知を行った者の氏名等

枚方市長 竹内 脩

平成21年5月14日付け、健セ第82号

「監査の結果に関する報告に基づき講じた措置について（通知）」

2. 通知を受けた日

平成21年5月18日

3. 監査の結果に関する報告

平成21年2月27日付け枚監査第223号

「定期監査の結果について」

4. 講じた措置の内容

(1) 対象部局名及び指摘事項（概要）

《健康部 保健センター》

○麻しんワクチンの予防接種について

麻しんワクチンは、平成18年度から2回接種となっている。

国立感染症研究所感染症情報センターの調査(平成20年9月30日現在)によると、本市の麻しんワクチン接種率は、大阪府下45市町村中、第2期は52.5%で11位(大阪府は全国45位)、第3期は40.4%で34位(大阪府は全国47位)、第4期は30.8%で40位(大阪府は全国46位)と、全国的にみても大変低い状況にある。

第1期及び第2期の95%以上の接種率の確保に向けて、また、平成20年度から5年間の時限措置として実施されている第3期及び第4期の接種率の向上に向けて、早急に予防接種を受けやすい環境を整えることが必要である。

世界保健機構(WHO)西太平洋地域においては、平成24年には麻しんの排除の達成を目標に掲げていることから、関係機関との連携を密にし、予防接種の対象者の接種状況を把握し、未接種の者への接種勧奨に努める等、接種率向上を図るよう指摘する。

(2) 措置内容

平成20年度麻しんワクチン接種率が確定しましたので、措置内容とあわせ報告します。

対象者への周知は、広報やポスター・チラシ等による広域的な情報提供とあわせ、第1期のみ実施していた個別通知を、第4期は平成21年

1月に未接種者2,300人に発送しました。また第2期は、2月に未接種児900人に個別通知するとともに、2月から3月上旬に電話による勧奨を行いました。第3期は、教育委員会の取組みとして年3回接種状況調査が行われ、各中学校より未接種・未罹患者に対し個別接種勧奨が実施されました。

その結果、平成20年9月末に第1期53.8%、第2期52.5%、第3期40.4%、第4期30.8%であった接種率が、平成21年3月末には第1期が97.1%、第2期95.5%、第3期78.5%、第4期68.1%に向上し、第1期・2期については、接種率95%の目標を達成することができました。

平成21年度は、接種期間の延長、取扱い医療機関の拡充を図り、予防接種を受けやすい環境整備に努めるとともに、第3期の対象となる新中学1年生の入学式の日にはチラシを配布するなど、より効果的な取組みを実施しています。

今後も接種率の推移を適時確認しながら、ダイレクトメール・広報等を有効に活用しながら、対象者への啓発・周知に努め接種率の向上に努めてまいります。